



西日本研修センターにおける 新規安全研修の取組み

研修部 西日本研修センター

1. はじめに

人身・設備事故の撲滅に向けた取組みについては、NTT様、協会・会員会社が一体となって、安全管理社員指導の徹底を図り、基本動作の遵守、各種施策を展開しているところですが、西日本研修センターにおいても、安全研修を平成25年度研修の最重点事項と位置付け、新たな安全研修を開設しました。今年度スタートした「危険体感安全訓練科」、「安全指導実践研修」について紹介します。

2. 新規研修の紹介

(1) 危険体感安全訓練科

「線路・宅内」工事従事者を対象に、人身事故再発防止、一人ひとりの安全意識向上等を目的に、危険作業の実体感を中心とした研修を行いました。

第1回は、7月8日(月)猛暑の中での研修となりましたが、16名の研修生はさまざまな危険体感を通じ安全作業の基本を習得しました。

危険体感安全訓練科

一人一人の安全意識向上のため!!

あなたは
事故の怖さを
知っていますか

①指差し呼称の基本説明・実践

確認するときは、目で見、声を出して、指を指して確認する。

*人差し指の先にもう1つの目があるとの意識で確認する(写真1)。



写真1 指差し呼称

②安全帯等使用方法の基本

高所作業(作業床が2m以上)に使用する。

*使用前点検を確実に実施し、使用上の留意事項を遵守する(写真2)。



写真2 安全帯使用方法

③安全帯・保安帽および傾斜地操作ビデオ(写真3)



写真3 傾斜地操作ビデオ

④引込線切断危険体感

張力のかかった引込線を切断して反動の危険を実体感する(写真4・図1)。



写真4 引込線切断危険体感

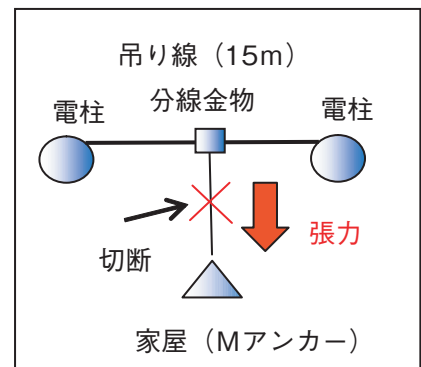


図1 引込線切断レイアウト

⑤瓦、スレート屋根の歩行体感

瓦屋根の滑り・スレート屋根の脆弱性を体感する。

*屋根上作業は原則禁止、必ず工事長等に連絡する。スレート屋根上では歩み板を使用しないで作業をしてはいけない(写真5-①・②)。



写真5-① スレート屋根脆弱性体感



写真5-② 瓦、スレート屋根歩行体感

⑥衝撃体感

ハーネス、バルブロック装着後、転落時の衝撃を実体験して転落用防止器具の重要性を体感する（写真6）。



写真6 衝撃体感

⑦梯子不安定危険体感

梯子の下部を滑らすことにより不安全を体感する（写真7）。

* 梯子の立てかけ角度は75度。



写真7 梯子不安定危険体感

⑧電力ショート危険体感

電力線のショート時スパーク、電気の怖さを体感する（写真8・図2）。



写真8 電力ショート危険体感

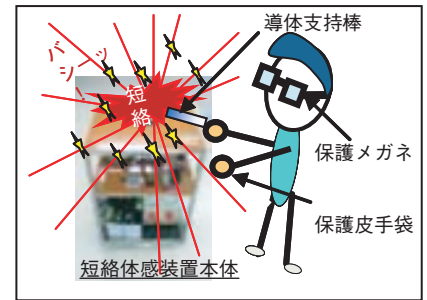


図2 電力ショートレイアウト

⑨飛来落下危険体感

上部からの飛来落下物に対する保安帽の重要性を体感する（写真9）。

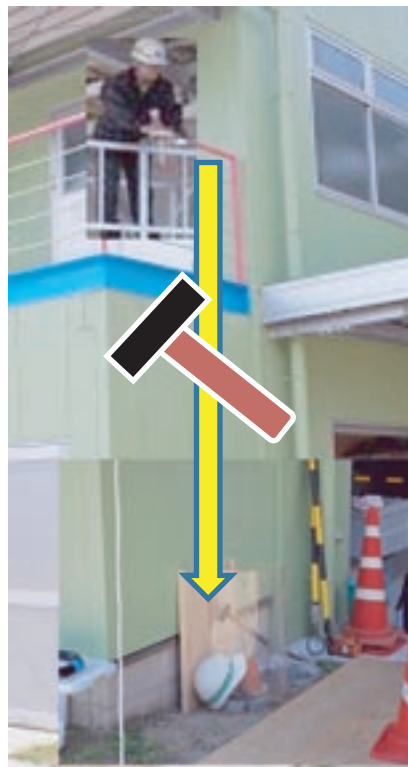


写真9 飛来落下危険体感

⑩地盤養生不良危険体感

地盤養生の重要性をバケット車に乗って体感する（写真10-①・②）。



写真10-① 地盤養生不良危険体感



写真10-② 地盤養生不良危険体感

⑪傾斜地車両操作危険体感

傾斜地におけるアウトリガー操作・圧倒的な重量を体感する（写真11）。



写真11 傾斜地車両操作危険体感

平成25年度 危険体感安全訓練科カリキュラム

時間	研修項目	研修内容	記事	
1時限	9:10~	オリエンテーション	①出席確認 ②研修内容説明 ③受講に際しての注意事項の説明	
	9:20~	座学	①指差し呼称の基本説明および実践 ②安全帯・安全器具の使用法の基本 ③安全帯・保安帽および傾斜地操作ビデオ	
	10:00~	休憩		
2~3時限	10:10~	安全ビデオ視聴	※ビデオ内容は時々で検討	
	10:50~	ラジオ体操および安全帯チェック		
	11:20~12:00	電力ショート危険体感&飛来落下危険体感		
	12:00~	昼食休憩		
4~6時限	13:00~16:30	・梯子不安定危険体感 ・地盤養生不良危険体感 ・傾斜地車両操作危険体感 ・衝撃体感 ・瓦、スレート屋根の歩行体感 ・引込線切断危険体感		
		終了	アンケートの記入	

今後の「危険体感安全訓練科」予定
10月28日（月）
11月18日（月）
（1コース20名）

② 安全指導者実践研修

座学・各種体感を通して、事故再発防止に向けた「安全指導実践力」の向上を目的とした研修を行いました。第1回研修は、7月12日、NTT西日本グループ各社様（NTT西日本地域会社、ホームテクノ社、ネオメイト社）の指導的立場の社員20名を対象としたオープン研修を行いました。

なお、研修にはNTT西日本本社の皆様等（7名）も来所され聴講されました。

①NTT西日本本社特別講話

NTT西日本の安全に関する取り組み、本研修の目的、作業の基本、指導者としての心構え等について講話していただきました（写真12）。



写真12 NTT西日本様特別講話

②基本法令、作業安全マニュアル説明

平成25年6月27日に制定されたNTT西日本「作業安全マニュアル」について、目的や特に留意すべきポイント等を学ぶ（写真13）。



写真13 研修生および聴講生

③事事故事例検討

実際に起こった事事故例を使って、どこに不備があるか、その原因はなにか、続けられようかどうすればよかったか、改善定着はどうするか等について、グループ討議、発表を行う（写真14）。



写真14 事例テーマの検討発表

不備の箇所を限定して指摘するのではなく、班長等に考えてもらうことを基本に対話する「対話型パトロール」の実践等、安全パトロールのポイントを学ぶ。

④安全体感実習

指導者として実作業における事故の怖さを知ってもらうため、「傾斜地車両操作危険体感（写真15）」、「梯子不安定危険体感」、「衝撃体感（写真16）」、「瓦、スレート屋根の歩行体感」の4つを体感する。



写真15 傾斜地車両操作危険体感



写真16 衝撃体感

平成25年度 安全指導者実践研修カリキュラム

時間	研修項目	研修内容
1・2時限	9:00~9:20	あいさつ NTT西日本本社 教育実施経緯等説明 (NTT西日本本社から研修生への動機付け)
	9:20~9:50	開講式 ①開講挨拶 ②オリエンテーション ③事前アンケート ④事前試験
	9:50~10:50	安全作業ポイント ・安全帯 ・地上高確保 ・作業の中止 ・保安施設設置 ・交通誘導員 ※基本：法令遵守
	10:50~11:00	休憩
3時限	11:00~12:00	安全作業ポイント ・高所作業方法優先順位 ・屋根上での作業 ・高所作業車の使用 ・昇降用転落防止器具使用 ・保安帽の着用 ・梯子作業 ・脚立作業 ※基本：法令遵守
	12:00~13:00	昼食・休憩
4.5時限	13:00~13:30	安全実習 ・体操 ・指差し呼称※ ・保安帽、安全帯着用※ ・指差し唱和※ ※座学で実施
	13:30~15:00	事例検討 (安全パトロールのポイントを含む) ・安全パトロールのポイント (対話型パト実施方法、結果報告等) ・過去の不備指摘事例からグループ討議後、グループ発表 ①どこに不備があるか ②その原因はなにか ③続けられようか ④どうすればよかったか ⑤改善定着はどうするか ・2事例の写真で事例検討 ・役割分担 (リーダー、発表者、書記、コメント担当を決める)
	15:00~15:10	休憩
6時限	15:10~16:30	安全体感実習 体感器具を使用して人身事故体感を体験 (2グループで実施) ・傾斜地車両操作危険体感 ・衝撃体感※ ・梯子不安定危険体感※ ・瓦、スレート屋根の歩行体感※ ※腰痛等体調不良の方は辞退するよう徹底
	16:30~16:50	まとめ ・安全パト実践教育科受講後の感想、質疑 ・事後試験 ・アンケートの記入
	16:50~17:00	閉講式 ・閉講挨拶

3. 終わりに

西日本研修センタは、これからも会員各社様の現場目線でカリキュラムの充実・強化を図り、研修を通じ「設備・人身事故の撲滅」「品質の向上」等に貢献していきます。